令和3年度決算から見る 東広島市のまちづくり

市民や企業の皆さんが収めた市税や、国からの地方交付税などを活用し、さまざまな事業を実施しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチンの接種など感染拡大防止の取り組みや、影響を受けた市民や事業者の皆さんを支援しました。

また、「選ばれる都市　東広島」の実現に向けて、5つの柱「まちづくり大綱」の視点から事業を展開しました。

令和3年度に実施した事業内容の一部を紹介するとともに、決算を報告します。

問 財政課 ☎(082)420・0918

まちづくり大綱と基本方針

仕事づくり	知的資源と産業力で多様な仕事が生まれるまち
暮らしづくり	自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち
人づくり	誰もが夢を持って成長し活躍できるまち
活力づくり	学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち
安心づくり	自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

Topic 1 仕事づくり Hi-Bizの経営相談体制の拡充

東広島ビジネスサポートセンターHi・Bizでは、令和3年度に専門領域サポーターを増やし、相談体制を拡充しました。相談者に行ったアンケートでは、「売上がアップした」と回答した事業者の割合が前年の11・7%から32・8%へ大幅アップ。時代のニーズにマッチしたサポートや、多彩なセミナーも好評です。

創業しました! 児童発達支援・放課後等デイサービス

児童発達支援事業所などでの勤務や、障害児の子育てをする中で、地域の療育サービスが不足していると感じ、創業を決意。偶然見つけたチラシでHi・Bizの存在を知り、オンライン予約したのが第一歩でした。全く知識のない私に、開業手続きや法人設立など全てに渡って親身にサポートしていただき、予定より早く創業できたことに感謝しています。

こども発達支援ルーム ピッピーノ 西川博子さん㊨
Hi-Bizセンター長 三嶋竜平さん

Topic 2 暮らしづくり 学生と住民自治協議会の連携の促進

住民自治協議会の抱える地域課題の解決に学生の視点や力を生かし、地域に新たな風を吹かせることを目指し、まちづくりに関心の高い学生10人で結成された「学生協働支援隊」。市内の6地域で、「里山の活用」「特産品開発」などを支援し、地域おこしのきっかけづくりにつなげました。

学生協働支援隊のメンバー。活動を通じ、「身近な地域で、できることがあると気付きました」と話してくれました。

Topic 3 人づくり① 乳幼児期における教育・保育の充実

人間形成の基盤となる乳幼児期に、遊びを通して総合的に育みたい「5つの力」(①人とかかわる力②感じる・気付く力③やりぬく力④考える力⑤うごく力)。令和3年度は、9カ所の教育・保育施設で「5つの力」を育む取り組みを行いました。各施設では、保護者や子どもたちと一緒に手作り遊具や運動遊具づくりをしたり、地域も協力して端材や天然の緩衝材などを利用した「SDGsの園庭づくり」をしたりなど、子どもの豊かな体験を生む環境を整えました。

Q 「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」で掲げている目指す乳幼児の姿「とことん●●● 豊かに育つ こころとからだ」の●●●に入る言葉は?

❶まなび　❷わらい　❸あそび

A ❸あそび

目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力は、遊びを通してこそ培われます。まさに「遊び」は「学び」といえます。

園庭の土に腐葉土や木くずを混ぜ、けがをしにくい環境づくりに取り組む様子(認定こども園くば)

Topic 4 人づくり② GIGAスクール構想による情報機器やネットワーク環境の整備

令和2年度に一人一台のタブレット端末やネットワーク環境を整備しましたが、「多人数が同時にインターネットに接続できない」などの課題がありました。そこで、令和3年度は、インターネット回線を増強。インターネット接続環境を改善し、クラウド上で共同作業や意見交流等が行いやすくなりました。これによりICTを活用した授業の幅が広がっています。

Q 校務・学習用●●●の整備及び管理に1億9635万1千円を支出しました。●●●に入る言葉は?

❶タブレット
❷スマートフォン
❸電子辞書

A ❶タブレット

先生の業務の効率化やICTを効果的に活用した授業づくり、また子どもたちの個別最適な学びや協働的な学びの実現を支えています。

市内の小学校と地域、大学を遠隔でつないだオンライン授業を受けている子どもたち(郷田小学校)

Topic 5 活力づくり 「次世代学園都市構想」の策定

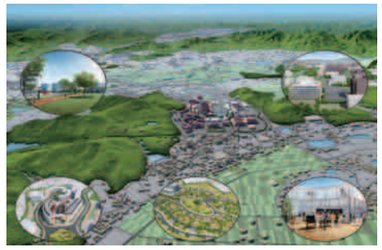
広島大学と共に取り組んでいる「Town&Gown」を中心に、新しい成長力を生み出す世界的な頭脳循環都市を未来ビジョンの土台に据えた「次世代学園都市構想」を策定しました。期待する将来を実現するための「6つの柱」は次の通りです。

Q 次世代学園都市構想は、●●●な地方都市モデルの実現を目指しています。●●●に入る言葉は?

❶簡素　❷高度
❸持続可能　❹家庭的

A ❸持続可能

本市はSDGs未来都市に選定されており、地域が抱えるさまざまな課題を解決しながら、持続可能な社会の実現を目指しています。



広島大学を起点とした次世代学園都市の実現を目指しています。

6つの柱

交通	持続可能なモビリティシステムの実現
経済・生産	新技術の社会実装と経済の好循環の実現
防災・防犯	安心・安全なまちづくりの実現
健康・福祉	健康増進を促すまちづくりの実現
居住環境	ゆとりと魅力ある居住環境の実現
教育環境	グローカルに活躍できるデジタル人材の育成

Topic 6

安心づくり❶ 防災・減災のための基盤整備

地域や各家庭での避難経路の検討に役立ててもらおうと、平成30年7月豪雨で浸水した地域を示す地図を作成。48の住民自治協議会ごとに、航空写真や罹災証明書の記録、聞き取りから情報を収集し、完成しました。また、大谷川（西条町）の拡幅工事と護岸整備、篠川（八本松町）の護岸整備を行い、護岸の崩壊や、氾濫の危険性が少なくなりました。

整備後の大谷川。拡幅工事により水位が低下しました。

整備工事前の大谷川

Topic 7

安心づくり❷ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施による支援

健康寿命を伸ばすため、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、作業療法士等の医療専門職が、フレイル予防の個別支援を実施。また、フレイル予防の5本柱「運動」「栄養」「口腔」「睡眠」「社会参加」の講座を、介護予防に取り組む「通いの場」や身近な場で実施するなど、普及啓発を行いました。

通いの場でのフレイル予防の普及啓発及び健康教育・健康相談には、延べ170団体2,748人が参加しました。

フレイル予防の出前講座を年2回受講。毎回20人以上が参加しています。栄養講座では時間いっぱいまで、会員からの質問が飛び交いました。体に良いもの悪いものを、これまで以上に意識するようになりました。

（下組長寿会 会長 森脇紀久夫さん）

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスワクチン接種を早期に進めるため、個別接種・集団接種共通の予約システムを構築し、集団接種会場の体制を整備しました。令和3年9月からは、感染者と濃厚接触者に、自宅療養支援物資の支給を開始。医療機関と連携し、衛生資材や食料品などを、申請に基づき4140件に届けました。また、新型コロナウイルス感染症の影響は、市民の生活や産業にも及んだため、臨時特別給付金や事業者支援を行いました。

主な取り組み

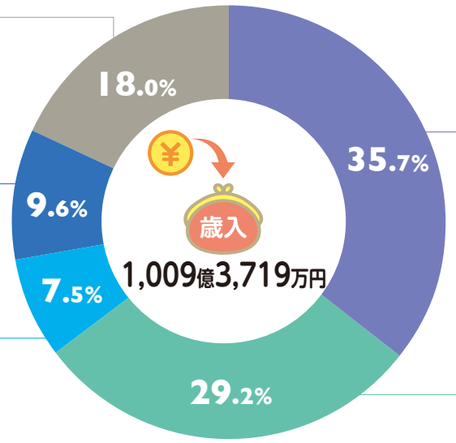
- 新型コロナワクチンの接種
- 住民税非課税世帯等臨時特別給付金
- 子育て世帯臨時特別給付金
- 事業再構築補助活用促進
- キャッシュレス決済30%還元キャンペーン

自宅療養支援物資

令和３年度一般会計決算

歳入ポイント 国庫支出金の大幅減により、全体でも前年比減。

固定資産税や地方交付税が増となったものの、市民税の減、また、特別定額給付金事業の終了に伴う国庫支出金が大幅な減となり、前年度と比較して歳入全体では減少しました。



市税 360億6,531万円
市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など、市へ納入される税金です。

国庫支出金・県支出金 295億3,026万円
国や県から使用目的を特定して交付されるお金のことです。

地方交付税 75億1,048万円
自治体間の財源の格差是正として、一定の基準により国から交付されるお金です。

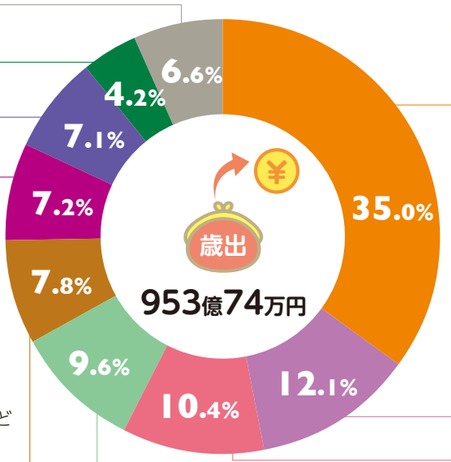
市債 96億5,360万円
施設建設や道路整備など多額の費用がかかる場合に、国や銀行などから借り入れるお金です。

その他 181億7,755万円
地方譲与税、各種交付金、分担金・負担金、使用料・手数料、繰越金、繰入金などです。

※歳入の「その他」の中には、地方消費税交付金が含まれていますが、平成26年4月からの消費税率引き上げによる増収分は25億3,452万円となっており、これは、民生費（社会福祉費、児童福祉費、生活保護費）および保健衛生費に充当しています。

歳出ポイント 給付金事業は増減ともにあり、全体として前年比減。

子育て世帯臨時特別給付金や住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業の実施などにより増となったものの、小中一体型施設整備や中学校の改修、特別定額給付金事業の終了などにより、前年度と比較して歳出全体では減少しました。



民生費 333億4,532万円
子育て支援や高齢者施策の充実など、福祉の向上のために使われるお金です。

総務費 115億7,032万円
窓口サービスや市役所の一般的な事務に使われるお金です。

教育費 99億3,368万円
学校教育、生涯学習や文化・スポーツなどの振興のために使われるお金です。

公債費 91億2,438万円
市債を返済していくためのお金です。

土木費 73億8,420万円
道路や河川、公園などを整備するためのお金です。

災害復旧費 68億1,423万円
自然災害により被災した道路や河川などの復旧に使われるお金です。

衛生費 67億7,855万円
健康づくりの支援や医療体制の充実、ごみ処理などのために使われるお金です。

商工費 40億1,430万円
商業、工業、観光の振興に使われるお金です。

その他 63億3,576万円
消防、農林水産業などに使われるお金です。

令和4年度 上半期の財政状況

令和4年度上半期(4/1～9/30)までの予算執行状況などについてお知らせします。

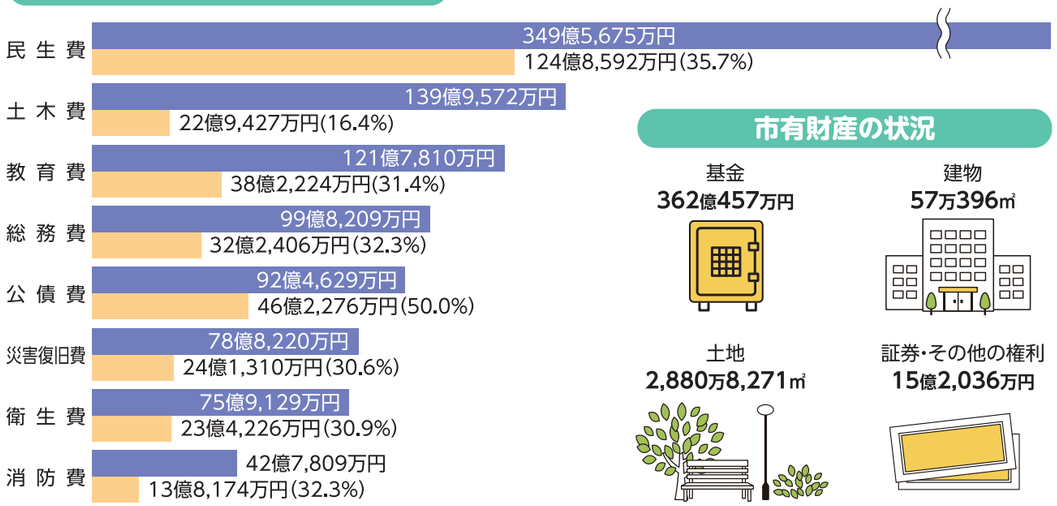
予算とその執行状況

単位：万円

区分		当初予算	補正予算	繰越予算	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計		9,518,000	394,989	970,883	10,883,872	3,842,311	3,757,049
特別会計	ひがしひろしま墓園管理事業	1,088	0	0	1,088	542	270
	特定地域生活排水処理事業	1,360	0	0	1,360	368	484
	八本松駅前土地区画整理事業	137,734	0	16,789	154,523	7,797	47,071
	国民健康保険	1,505,186	4,640	0	1,509,826	637,967	617,359
	後期高齢者医療	235,169	2,185	0	237,354	85,657	96,002
	介護保険(保険事業勘定)	1,316,053	19,210	24	1,335,287	534,372	523,529
	介護保険(介護サービス事業勘定)	1,098	0	0	1,098	570	469

一般会計の主な歳出予算の執行状況

予算額　執行(支出済)額　(　)：執行率



市有財産の状況

基金
362億457万円

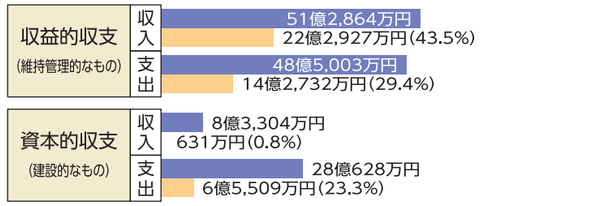
建物
57万396㎡

土地
2,880万8,271㎡

証券・その他の権利
15億2,036万円

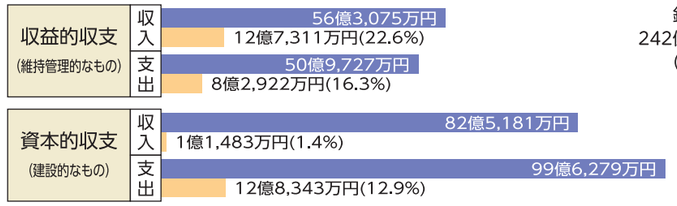
水道事業会計の執行状況

予算額　執行(支出済)額　(　)：執行率



下水道事業会計の執行状況

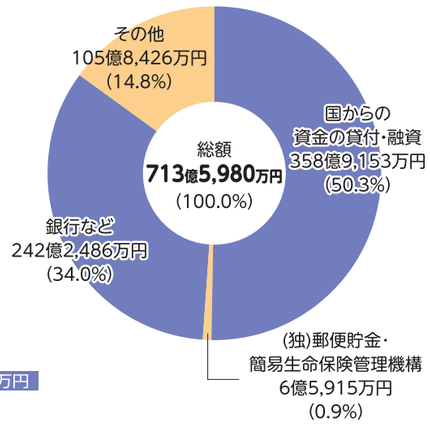
予算額　執行(支出済)額　(　)：執行率



市債の現在高(借入先別)

―水道事業および下水道事業を除く―

(　)：割合



令和3年度 目的税の使いみち

目的税は特定の事業の費用(一般財源)に充てるため負担していただく税金で、使いみちが特に限定されていない市民税や固定資産税などの普通税と区別されます。

本市の目的税には、都市計画税と入湯税、森林環境譲与税があります。

都市計画税

(歳入／15億4,015万円)

都市計画区域の市街化区域内(平成22年度からは用途地域を含む。)の土地と家屋を対象に課税しているもので、街路や下水道などの都市計画事業の一般財源に充てられます。

区分	事業費	うち一般財源
街路	12億5,095万円	1億4,518万円
公園	1億177万円	177万円
下水道	57億3,995万円	1億901万円
区画整理	7億8,760万円	7,600万円
その他	9,010万円	9,010万円
公債費	27億9,519万円	9億383万円
合計	**107億6,556万円**	**13億2,589万円**

※残余については後年度の事業に活用します。

入湯税

(歳入／315万円)

鉱泉浴場の入湯客に一人1日につき50円(宿泊を伴う場合は150円)を負担していただいているもので、環境衛生施設の整備などの一般財源に充てられます。

区分	事業費	うち一般財源
環境衛生施設	5,032万円	3,765万円
消防施設	3億9,501万円	4,681万円
観光振興費用	8,830万円	6,052万円
合計	**5億3,363万円**	**1億4,498万円**

森林環境譲与税

(歳入／3,109万円)

国内に住所を有する個人を対象に課税される森林環境税(国税)が市へ譲与されるもので、森林整備などの一般財源に充てられます。

区分	事業費	うち一般財源
森林環境保全	1,036万円	1,036万円
合計	**1,036万円**	**1,036万円**

※残余については後年度の事業に活用します。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、特定の事業を特定の収入によって行う会計です。

会計名	歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業	286万円	286万円
ひがしひろしま墓園管理事業	650万円	650万円
特定地域生活排水処理事業	1,168万円	1,168万円
八本松駅前土地区画整理事業	6億399万円	5億2,602万円
国民健康保険	158億7,754万円	157億4,603万円
後期高齢者医療	22億8,173万円	22億5,988万円
介護保険	133億4,169万円	131億4,935万円

地方債および基金の現在高

◆地方債／758億4,717万円
※市民1人当たり：40万2,614円

◆基　金／358億590万円
※市民1人当たり：19万66円

※令和3年度決算。水道事業・下水道事業を除きます。
※市民1人当たりの数値は、令和4年3月末時点の住民基本台帳人口(188,387人)から算定しています。

公営企業会計

主に使用者の皆さんが払う料金収入によって事業を行う会計で、地方公営企業法の適用を受けるものです。

※消費税および地方消費税を含みます。
※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金などにより補てんしました。

水道事業会計

収益的	収入	51億9,556万円
	支出	46億5,544万円
資本的	収入	1億1,015万円
	支出	11億8,838万円

下水道事業会計

収益的	収入	53億693万円
	支出	45億7,003万円
資本的	収入	59億7,644万円
	支出	76億474万円